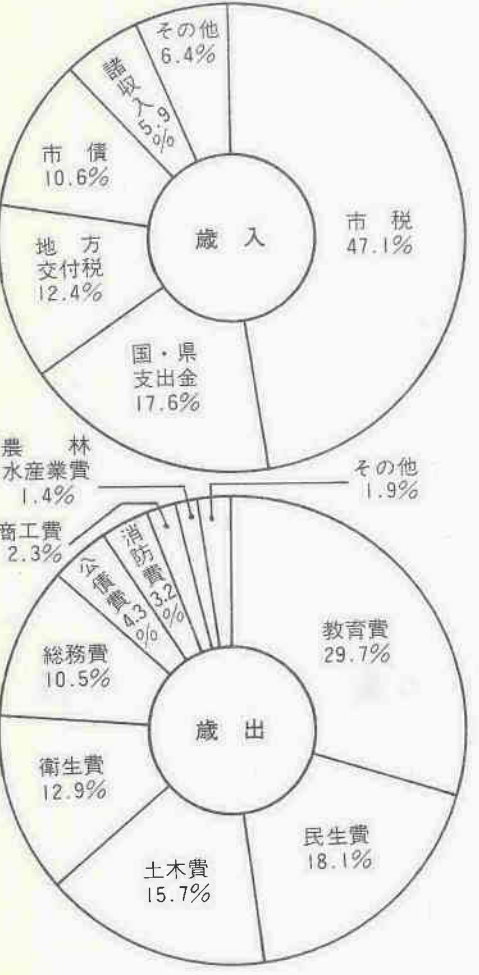


昭和55年度一般会計予算構成比



環境・教育・福祉

昭和55年度予算編成方針

教育費

教育施設のうち、小・中学校に つきましては、児童生徒の増加に 対処するとともに、施設の整備充 実を図るため、九校の増設と、 体育館、プール各一カ所の建設を 計画いたしました。

小学校につきましては、五十四 年度債務負担行為による中央小学 校と川越小学校の改築、大東西小 学校の防音改修工事および泉小学 校の増築ならびに芳野小学校体育

市と公社で百六十億円

学校給食センターと 公民館を新設

館建設のための諸経費を計上しま した。また、中学校につきまして は、川越第一中学校および初雁中 学校の改築ならびに東中学校、寺 尾中学校、大東中学校の増築と、 高階中学校プール建設の経費をそ れぞれ計上いたしました。

さらに、市土地開発公社に委託 して、すでに先行取得されており ます霞ヶ関東小学校、山田小学校 および霞ヶ関東中学校の校舎、福

土木費

次は、土木費について 申し上げます。 土木費の総額は、四十 九億二千七百五十七万円 であります。

まず、道路新設改良事 業は、前年度同様、市民生活に直 接密着する生活道路の新たな整備 改良を目指して、前年度から継続 中の諸工事の推進を図ることとい ました。また、舗装工事、側 溝整備工事等につきましても、依 然として市民の要望が極めて多い 実状でありますので、徹底的財政 事情のなかではあります、新年 度も引き続き努力していく考えで あります。

さらに、河川関係では、準用河

道路の新設 改良を重点

原中学校の体育館ならびに山田中 学校と、名細中学校のプールのほ か、仮称名細北小学校および仮称 名細東中学校用地取得のための経 費をそれぞれ計上いたしました。

また、社会教育費といしまして は、仮称高階南公民館の建設費 を、保健体育費といしましては、 仮称第四学校給食センターの建設 費をそれぞれ計上いたしました。

以上のように、新年度の教育費 は、市の一般会計に計上された分 だけでも九十三億二千五百九十一 万円となりますが、さらに、これ に市土地開発公社に委託の校舎建 設費等を含めると、その総額は、 僅に百六十億円を超える見込みで あります。

民生費

民生費の総額は、五十 六億八千五百五十万円とな りました。

まず、老人福祉につい て申し上げますと、前年 度に引き続き、健康で生 活がいのある明るい街づくりの推 進を図る経費を計上いたしました。

すなわち、老人の健康増進を図 るためのスポーツ大会、ゲートボ ール大会、生きがいと新陸を高め るための芸能大会、創作品展示会、 囲碁、将棋大会等の経費でありま す。さらに、在宅の虚弱老人を対 象とする在宅老人の通所授産施設

高齢者事業団の設立

また、高齢者の生きがい対策の 一環として、長い経験によって培 われてきた能力の活用等を図るた め、高齢者事業団設立のための経 費も計上いたしました。

また、高齢者の生きがい対策の 一環として、長い経験によって培 われてきた能力の活用等を図るた め、高齢者事業団設立のための経 費も計上いたしました。

また、高齢者の生きがい対策の 一環として、長い経験によって培 われてきた能力の活用等を図るた め、高齢者事業団設立のための経 費も計上いたしました。

産業を重点に

総額は516億6126万円



川越市長 加藤 漣 二

私は、川越市長といまして、 新年度の当初予算の編成方針とそ の概要を説明申し上げ、市民の 皆様のご理解あるご協力をお願い したいと存するものであります。

さて、一九八〇年代の幕開けで ある昭和五十五年は、国の内外 にわたり、まことに厳しい事態が 予想されております。

すなわち、世界の経済をめぐる 諸情勢は、ますます混乱を増し、わ が国の経済も景気の先行きも必ず しも断絶を許さない状況にありま すので、政府におきましては、経済 の安定的成長を期して財政の再建 を緊急課題といたしてあります。

幸いにして本市は、市民の皆様 のご協力のもとに、多年にわたっ て健全財政を堅持して参っておりますので、今後とも勇気をもって これを貫き、市民生活の安定と福 祉の向上に自信をもって取り組み、 一層市政への信頼を高めたいと

市の昭和五十五年当初予算が三月定例会市議会で可決成立しまし た。 予算編成の重点目標は、引き続き(1)生活環境の整備、(2)教育等文 化施設の拡充、(3)社会福祉の充実、(4)地域産業の振興の四つに置か れています。

予算額は、一般会計が三百十四億五千万円で前年当初に比べ一・ 二%の増、特別会計が二百一億二千六百万円で九・二%の増とな っています。

加藤市長が市議会提案にあたって明らかにした予算の編成方針と 概要は次のとおりです。

一般会計 歳入

まず一般会計予算の 歳入について申し上げ ます。

市税の総額は、百四 十七億九千八百九十五 万円と見込みました。

この額は、前年度当初 予算額の百二十七億二 千五百三十二万円に比 べ、一六・三%の増で

歳入

あります。また、このうち個人市 民税は、前年度当初予算に比べ一 八・三%の増となります。

法人市民税につきましては、経 済情勢の変化および法人の業績の 良否によって税収に著しい違いを 生じますので、これら変動要因の 現状から適正な法人市民税の伸張 率を勘案し、その増を見込みまし た。

また、固定資産税と都市計画税 の増は、主として土地に対する負 担調整によるものと、家屋の新増

歳出

次は、一般会計予算の歳出につ いて申し上げます。

新年度当初予算の主な支出の前 年度当初に対する比率は、総務費 一八・二%増、民生費一・九% 増、衛生費五%減、労働費三三・ 三%増、農林水産業費七・三%減、 商工費〇・六%減、土木費九・一 %増、消防費八・七%増、教育費 一八・五%増、公債費二四%増と なりました。うち、特に減額とな

りましては、前年度委託し、現在 工事中の三校と別の、新設三校の 建設で、土地の取得、造成事業と いたしましては、新設五校分の用 地に関する事業等の委託でありま す。

いずれにいたしましても、今日 ほど国、地方を通じて経済と財政 の問題が深刻化している時はあり ませんので、私といたしましては、 市政の重点目標を新年度も引き続 き(1)生活環境の整備、(2)教育等文 化施設の拡充、(3)社会福祉の充実、 (4)地域産業の振興の四つに置き、 市政の許す最大限まで、その予 算化につき、積極的努力を払った 次第であります。その結果といた しまして、新年度一般会計予算の 総額は、三百十四億五千万円とな りまして、前年度当初の二百八十 二億七千万円に比し一一・二%の 増となりました。これは、地方財 政計画の伸び率七・三%を上回り

歳出

すなわち、本市の一般・特別両 会計予算の総額は、五百十六億六 千二百六十六万円となりました。こ のうち行政施設水準の向上を図る べき投資的経費は、一般会計百一 億五千九百四十三万円であり、そ の全経費に対する割合は、三二・ 六%であります。また、特別会計 では、五十八億七千八百一十二万 円となり、両会計の投資的経費の合計 は、百六十一億三千二百四十四万 円となります。

築等による増であります。その他 の税の増は、いずれも社会増等に よるものであります。

なお、この予算には、今後予想 されます税制改正に伴う個人市民 税の諸控除の引き上げ、均等割の 税率の引き上げおよびガス税の免 税点の引き上げ等による税収関係 は含まれておりませんので、これ らについては、法の改正をまつて 措置したい考えであります。

次に、地方交付税は、国の伸び 率を考慮しながら三十九億円を計 上いたしました。

また、国庫支出金は、前年度当 初よりも、九億二千六十六万円の

減となりましたが、これは、小・ 中学校の新増設事業が前年度よ り少なくなったためと、二年継続 事業の尿処理場建設事業が、五 十四年度で終了したためであり、 他の民生費と土木費は、いずれも 増であります。

財産収入につきましては、国の 事業である国民年金保養センター の建設が、市内伊佐沼のほとりに きまりましたので、この建設用地 として、市有地を国に譲渡するた め、その収入を含めて三億六百萬 万円を計上いたしました。

なお、繰入金は、財政調整基金 からの繰入れであり、同基金もそ の結果、前年度より一億四百万の 三億円となりました。

また、諸収入につきましては、 前年度当初よりも四億七千三百三 十五万円の増となりました。これ は、下水道事業関係の県納付金三 億円、街路事業関係の日本住宅公 団納付金が前年度に比し、一億円 増となったことによるものであり ます。

ための身体障害者のスポーツ大会等の経費をも計上いたしました。

また、車いす利用の重度障害者に対する福祉タクシー制度につきましては、本年度は、新たに対象者の拡大と、これら関係者の福祉増進を図る経費を計上いたしました。

次に、児童福祉につきましては、南古谷地区に定員九十名の保育園建設費を計上いたしました。

じんかい・し尿処理能力のアップ

衛生費

次に、衛生費について申し上げます。

衛生費の総額は、四十億三千九百七十二万円でいたしました。

まず、健康で明るい社会を目指し、市民の生涯を通じて健康づくりと体力増進を図るべく、公衆衛生にかかわる諸事業に必要な経費を計上いたしました。

また、じんかい処理施設およびし尿処理施設につきましては、さ

また、子供の健全な育成を図るために、前年度に引き続き遊び場の設置等の経費を計上いたしました。さらに、両親が共に欠けている児童を養育している保護者に支給する育児手当の増額も行いました。

国民年金事業につきましては、国が建設する国民年金保養センターに關連する予算も計上いたしました。

次に、処理機能の向上を目指し、排ガス装置、破砕前処理施設あるいは排水処理施設等の整備に必要な経費を計上いたしました。

公害につきましては、市民ならびに公害モニターのご協力を得まして、前年度同様発生源対策を主眼とし、さらに、大気汚染をはじめとする諸公害対策につきましては、県の公害対策に協力してその防止に必要な経費を計上いたしました。

公害防止設備資金融資を新設

商工費

次は、商工業の振興について申し上げます。

中小企業への融資対策といたしましては、従来

の制度の融資枠三十八億円の融資を見込みました。

また、工業につきましては、小工場の集団化への助成措置を続けることと、その住・工混在の解消を図り、さらに、これに漏れる対策として、中小企業者には、企業者自信が適切な公害防止措置と経営の近代化を図るに必要な、公害防止設備資金の融資枠を新設いたしました。

なお、商業につきましては、最近の流通業界における大資本系列等による革新的な出店傾向に対処するため、地元小売業者らとの調整等に必要な経費を始め、前年度に引き続き商店街振興のための調査費等も計上いたしました。

競輪

次に、競輪事業特別会計につきましては、新年度の開催期を十月および十二月の二回に予定し、売上金を四十四億円と見込み、売上金一般会計への収益繰出額を二億四千万円といたしました。

休日急患診療

次に、休日急患診療事業特別会計につきましては、昨年七月一日開設以来市民の利用も多く好評を得ておりますので、本年度も医師会および薬剤師会のご協力を得て、市民の急病対応に万全を期したいと考えております。

と畜場

また、と畜場事業特別会計につきましては、関係者の努力にもかかわらず、と畜頭数が伸び悩んでおりますので、関係者の一層のご協力を願うとともに、極力経費の節減に努め、適正な運営を図るつもりであります。

四十九億三千万円で33パーセントの増

下水道

下水道事業特別会計につきましては、四十九億三千八百四十一万円で前年度当初比で三三・三〇％の大幅な増額になりました。

その主な事業は、雑排水対策としての施設の管理整備費、右岸流域関連等の公共下水道建設費および川越鶴ヶ島住宅団地関連の都市街下水道建設費等であり、

まず、施設の管理整備事業といたしましては、砂新田地区の排水設備枝線工事三千余戸、汚水主管線千戸および排水枝管等一千二百戸の施工費を計上いたしました。

労働費

労働費につきましては、労働金庫が行う未組織労働者への融資のための、埼玉県労働者信用基金協会出資金および労使関係の健全化を図るための労働講座開催等の経費を計上。また、勤労者住宅資金の融資枠を二億五千万円増大いたしました。

次は、農業振興について申し上げます。

昨今の厳しい農業環境のなかにおいて、現在の農業振興地域について見直しを行うため、国、県に協力して、諸施策を推進すること、すなわち、

農林水産業費

水田利用再編対策につきましては、本年度四百七十一・九ヘクタールの大幅な生産調整を余儀なくされましたので、麦作を中心とする転作により、その定着化を促進することといたした次第であります。

さらに、農業後継者対策では、農業青年会議所などの育成に努めるとともに、集落農業の推進と合わせて、農地の規模拡大に有効利用を図るため、引き続き農用地の高度利用促進事業の推進を行うこととし、また、畜産関係といたしましては、飼料の安定確保を図り、土地改良事業につきましても、農道整備などに必要な各必要経費を計上いたしました。

消防組合負担金九億九千万円

消防費

次は、消防費について申し上げますが、川越地区消防組合の負担金九億九千二百四十八万円で、自警消防費および水防費の委託料八百九十一万円で計上いたしました。

なお、災害対策につきましては、前年度に引き続き、避難場所標識設置の経費と、災害時における給

特別会計

公益質屋

次は、特別会計予算について申し上げます。

まず、公益質屋事業特別会計に

江川流域下水路

江川流域下水路建設事業特別会計につきましては、前年度からの継続事業である江川の吐口工事の完成を期するとともに、さらに、その管理通路、雨水調整堰および保安設備等の整備を図る所存であります。

都市下水路

都市下水路事業特別会計につきましては、工事費二億二千七百三十六万円で、工事費一億二千七百三十六万円をもち、場都市下水路百二十六戸、真土川都市下水路の東武鉄道横断一か所および各都市下水路等の防護柵、用水付替等を施行する予定であります。

東口再開発

川越駅東口市街地再開発事業特別会計につきましては、前年度に引き続き公共用地の先行取得およびこれに伴う家屋移転のための経費ならびにその仮設店舗等の設計費も、新年度予算に計上するとともに、年度内に本事業全体の計画の策定を終える方針であります。

第六次拡張事業 始まる

水道

水道事業特別会計につきましては、年間総配水量を二千七百六十四万二千トン、月平均給水戸数を

国民年金 保険料 4月から 1か月3,770円に

この四月から、国民年金の保険料が、一か月三千七百七十円(三月までは三千三百円)になります。

国民年金は、加入者が納める保険料と国の負担金でまかなわれていきます。したがって、私たちの生活水準や経済状況に合わせて年金額を増やしていくためには、どうしても保険料の引き上げが必要になってきます。

今回の引き上げもこのためのもので、

通知書が届いてから申請を

老人医療

市では、老人の医療費が無料になるよう助成制度を設けています。

この制度は、医療機関の窓口で支払う診療費の自己負担分を市が助成し、老人に対する医療費の無料化を図ろうというものです。しかし、この助成を受けるためには、必ず申請手続きをしなければなりません。受給資格に該当している方で、まだ申請していない方は、早目に手続きをしてください。

新しく受給資格ができる方には、該当する月の前月末日までに、通知書を送りますから、その通知書が届いてから申請してください。

環境モニター募集

公害対策にあなただの力を

市では、市内各地域の環境について、市民の方々のご意見やご要望をモニターを通じて、いち早くキャッチし、それを市の公害行政に反映させていこうと、次のとおり環境モニターを募集します。

モニターの仕事

①市からのアンケート調査(年二回程度)に回答する

②研修会・連絡会(年三回程度)に出席する

③地域に公害の発生またはおそれがある場合、市へ連絡する

応募資格

①市内に三か月以上居住し、年齢が二十歳以上で、環境や公害問題に関心がある

②研修会・連絡会(年三回程度)に出席する

③地域に公害の発生またはおそれがある場合、市へ連絡する

応募資格

①市内に三か月以上居住し、年齢が二十歳以上で、環境や公害問題に関心がある

②研修会・連絡会(年三回程度)に出席する

③地域に公害の発生またはおそれがある場合、市へ連絡する

家庭児童相談員を募集

〈勤務内容〉

家庭児童の福祉に関する専門的相談指導業務に従事(週三日勤務)

〈応募資格〉

①大学で、児童福祉、社会福祉、児童学、心理学、教育学または社会学を専攻、これを卒業した人で昭和五十五年四月一日現在三十五歳以下の方。

②募集人員：一名

③申込受付：四月十四日(月)十六日

④提出書類：受験申込書(職員課にあり)

⑤代本元男 三久保町三十三番 22-16553

新たに代本さんが 民生・児童委員に

これまで欠員になっていた三久保町担当の民生・児童委員が決まりました。福祉関係のご相談はお気軽にどうぞ。

毎号ご愛読ありがとうございます。皆様のご支援・ご協力のおかげで、この広報川越も無事発行500号を迎えることができました。厚くお礼を申し上げます。

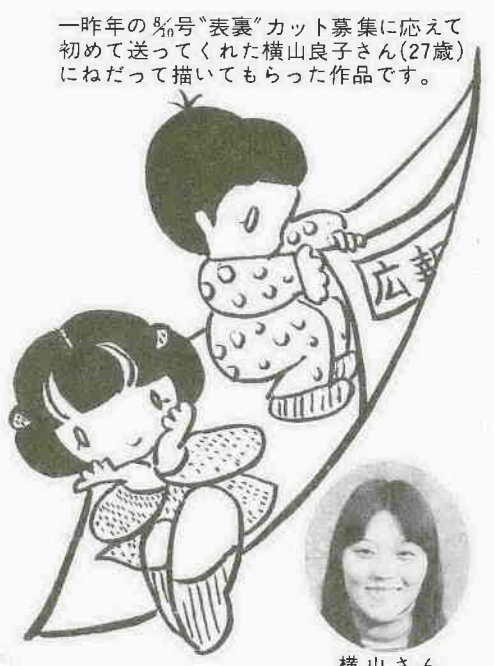
新聞とは違うはず
森田勝郎(42歳)



宮元町 29-5

新聞と広報では、もともと性格が違うはずだし、身近な広報だから効果があるって場合もあるわけですよ。だから一つのことを紹介するにしても、もっと身近な、川

「御意見番」再登場



一昨年の「表裏」カット募集に際して初めて送ってくださった横山良子さん(27歳)にねだって描いてもらった作品です。



横山さん 南大塚1100-18

重要な役目は今も変わることはない。広報を通じて行政にもっと関心をもってもらい、この川越が皆さんの川越になるように……。では、これからの広報のあるべき姿は……。そこで、今回広報500号記念特集では、昭和35年、当時、市はもろもろ県下初のモニターとして市政に、広報に苦言や提言をぶつけてきた、いわば「広報御意見番」の皆さんに再登場を願い、広報について語ってもらった。

越に住んでいる人にとってどうなのかって角度から、取り組まなきゃ関心を示してもらえないんじゃないかな。それに、新聞のように毎朝くるわけじゃないからつい見逃すってこともあるわけ、このことも忘れないうでほしい。

バックアップも役目
田中昭子(52歳)



三光町 13-3

最近、福祉のことを考えるんですよ。特に体の不自由な人に対する福祉がちょっと遅れているんじゃないかしら。だから、いまいらつしやる民生委員さんなんかにも、もっと活躍していただけるように、広報でバックアップするとか……。それに、もっと縁の下で

活躍している人がいるはずですよ。そんな人にスポットをあてて、活動をねざらうってのも広報の役目じゃないかしら。

川越らしさを
米沢 博(52歳)



米沢さん 中原町2-15-9

仕事のことで市外、県外へ出かけることが多いんですよ。そんなとき、外から川越をみて、人の穏やかさや、街の落ち着きを感じますね。住むにはいいところじゃないのかな。だから、そこに住む人に、川越のよさが分かってもらえるような、川越らしさがでる広報であってほしい。ちょっと保守的な街だけど、どんどん発展してゴミゴミした街にはなつてほしくない。

時代に即応して
内田 豊(40歳)



小ヶ谷 221

広報も時代に即応して、いろいろなことを扱っていいんじゃないかな。市役所のお知らせばつかりじゃ読まれなくなるよ。そんな意味じゃ表通り裏通りなんていいですよ。ただ、昔から川越に住んでいる人と、新しく移ってきた人とのコミュニケーションがまだうまくいっていないようにだから、広報を通じていろいろな人が交流できるようにしたら最高じゃないですか。

心に残るものを
川崎春子(57歳)



大手町 10-8

仕事の関係で「声の広報(目の不自由な人に提供している「広報音声版」)を聞いたことがあるんですけど、ただ広報を読んでいるだけであまりおもしろ味がないですね。でも、声の広報があったり、点字版があったり、テレビ広報があったり、いろいろな方法でPRしていればきっと、そのうち一つは、人の心にひびくものがあるはずですよ。それでいいんじゃないかな。

テレビを利用しよう
遠藤和久(42歳)



古谷上 3823

モニターをやつても印象に残っているのが「施設めぐり」。南大塚の大きな変電所を見て、「へー、川越にもこんなものができるようになったのだから感じ。強烈だったなア」。記事で知らせるより目の前で見せるやり方、これができれば。そう、今、UHFでやっている「わが街川越」、これをもっと上手に利用しなくっちゃ。他の局でやる前に、川越の話題を市の番組でどんどん放送するって風に。

川越のよさを記事に
山畑宗一郎(57歳)



笠幡 2336

固苦しいことばかりじゃ、見てもおもしろくない。だから、記事も読んでもらえるように工夫をしなくっちゃ。例えば、春夏秋冬にちよって話題がでてる和やかな紙面にすると。それに、川越はまだまだ新しい人が増えているから、「茶の間の風土記」ってスタイルで、川越のよさを正確に紹介していくコーナーがあつてもいい。とにかく、広報だからできるそんな、身近な明るい話題が必要だ。

あの人は今
市民の歌に作詩応募
野原さん

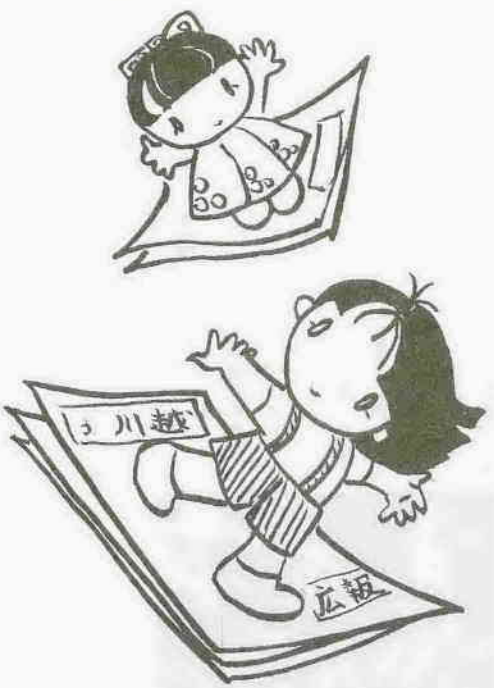


この歌は、昭和三十三年に、川越市合併記念事業として作られ、同じ年の「No.75」にその経過が載っている。市民の歌の詩は一般から公募されたものだが、何人かの応募者の中に、末町一三の野原正作さん(66歳)の名が見える。当時の広報に載ったのは、全然覚えていないという野原さん。このときは選外佳作となり採用はされなかったが、もともと俳人として有名な人。歌の詩を書き初めたのは昭和二十三年の「川越夜曲」が最初という。そして、中央俳壇では活躍している。地元のためだけに尽くしていない。何か川越のために、と、そんな気持ちが、この一月に発売されたばかりのレコード「小江戸川越音頭」の作詩に実を結んだ。今は、病気の奥さんの看病と仕事で忙しい毎日らしい。

僕の作文
横浜市・佐藤和美(32歳)

昭和三十三年の「No.86」から現在の「ぼくらの作文」の前進として「僕の作文」がスタート、その第一号に登場したのが、佐藤和美さん(32歳)。当時二小(現在の川越小)の五年山口組だった。横浜市立大学医学部へ入学以来川越とは縁遠くなり、現在は横浜市に住み、三浦市立病院のお医者さんである。「エッ! そんなことがあつたんですか!」と、こちらからの電話にびっくり。「よい歯のよい子」と題するその作文を読

初代モニター、広報に直言



市民のための市政、市民のための広報——絶えずこう考えながら発行を続ける広報川越。いま、この広報紙が発行500号を迎えた。昭和26年4月20日「川越・市政だより」としてスタートしてから30年目にもなる。この間、多くの市民の声が寄せられ、また広報の重要性が叫ばれ「広報はかくあるべき」といろいろに評されてきている。しかし、広報にとって創刊号以来、市民と市政を結びパイプ役としての

じっくり型の広報を
平野文江(59歳)



鯨井 1858-1

前と比べて広報の配布も早くなつたし、読みやすくなりました

中心のある情報を
中野庄次(52歳)



鴨田 455-3

よ。特に笑顔の子どもの写真なんかがあるとホッとしたり気持ちになったりして……。ただ、もうちょっと「読んでもらおう」って気持ちがあつてもいい。だから、そのためには工夫も必要だし、多勢の人が対象だから、程度の高い内容を一度に出すつてやり方より、じっくり回を重ねて広報していくつてことが大切じゃないかしら。

仕事に追われて、新聞でさえも毎日、全部が目を通せないのと同じ

効果は内容しだい
中野敏子(65歳)



寺山 726

じょうに、広報もすみからすみまでなかなか読むわけにはいかない。だけど、自分たちに関心のあることは見逃さないんじゃないかな。それに、二十五万も人がいる川越じゃ、いろいろな人がさまざま職種に就いているわけだから、それぞれに必要な情報があるはず。これを片偏らずに出すのも広報にとっては大切なことなんです。

モニターが必要
榎本岩二(71歳)



藤間 1079-2

広報モニターはあつたほうがいい。各地区ごとに一人ぐらいいて、広報のことだけじゃなくて、市政全般について、苦情連絡員、つてかたちで、気づいたことをどんどんいえるようなモニターが。ただ、それを受ける側も十のうち十はできつこないんだから、そのうちの三つぐらいは行政に反映させるぐらいの気がなくつちやだめ。そうでなきゃ、せつかくの要望も苦情で終わってしまうから。

毎号ご愛読ありがとうございます。いま、広報モニターはあなた自身です。ご意見・ご要望は遠慮なく広報係へお寄せください。☎ 24-8811内線433・434

広報紙のあゆみ

- No.1 昭和26年4月20日発行。「川越・市政だより」としてスタート。「発刊にあたって」と題し、市長代理助役・岸藤三郎が市政だよりを語る。「川越市公報」も回を重ねて11號に及んだのでありますが、兎角内容が硬すぎるとの評もあり……新聞体裁に改め、名前も『市政だより』と改め、毎月1回市内各戸に一部宛配布……。
- 合併特集号 昭和30年4月1日発行。「大川越市ここに誕生」と大見出しをたて、6ページにわたつて、隣接9か村との合併の特集。新川越市人口10万、面積110平方キロに。
- No.75 昭和32年7月20日発行。この号から第3種郵便物認可を受けた機関紙に。
- No.115 昭和35年6月10日発行。全国でも珍しい、県下初の広報モニター制度と、モニター15人を紹介。
- No.121 昭和35年11月10日発行。「スポットライト」の欄を設け、市内の話題を写真入りで紹介しはじめる。
- No.187 昭和41年4月10日発行。タイトルが「広報かわごえ」になる。
- No.199 昭和42年4月10日発行。タイトルを「川越」に変更。
- No.212 昭和43年4月10日発行。この月から10日と25日の毎月2回発行に。
- No.236 昭和44年4月10日発行。タイトルを「広報川越」と改め、今と同じ大きさA4版に。
- No.356 昭和49年4月10日発行。この号から、市と直接契約をした広報協力員による個別配布が始まる。
- No.457 昭和53年6月25日発行。「我が家・我が街・わが暮らし」を言葉に、市民のページ「表通り」が始まる。
- No.500 昭和55年4月10日発行。「広報川越」新たな旅立ち始まる。

一昨年の「No.487」でスタートした表通り裏通りに載つた投書の主がこの人。新宿町五「一三四二」にある「新宿団地」に住む中山正男さん(53歳)。「水虫の治療法を教えてください。」「たまたま自分がその方法で治つたからなんです。なんとなく自分だけでもいいから、皆さんも試す」と、動機を語る。「表裏」にもとあつて「なんとなく投書しやすいふんい気もあつたんです」と、当時を振り返る。

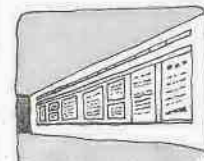
水虫治療法の投書主
中山さん

田草取終えて小暗き陸道に宿りしほたる子等の土産に 昭和三十三年の「No.76」から婦人文芸欄がスタート。その中に、この歌と瀨川美谷という名前が見える。瀨川美谷(美は池辺五七九の瀨戸ふみさん(56歳))。歌は「仕事への励みでもあり、生きる喜び」という。当時のことには、「二十年も昔でよく覚えていないけど、ただそのころが主婦として一番忙い時代だった」といふ。子育てで忙い時代だったという瀨戸さん。今は、大東公民館の短歌会に通い活躍中。

婦人文芸欄に投稿
瀬戸さん

広告を出しませんか 川越駅西口の地下道内

市では、川越駅西口の地下道内に20か所、電柱広告板を設置し、皆さんにご利用いただいています。が、このほど左下図の3か所(④・⑤・⑥)が空きとなりましたので、この広告板を使用する方を次の要領で募集します。



場所は、同事務所(協田町1-13、☎227235)へお尋ねください。

〔広告板の規格・使用料〕

- ④・⑤：190センチ×100センチ、月額8000円、年額96000円
- ⑥：160センチ×100センチ、月額6000円、年額72000円

〔申込〕

4月15日(火)21日(日)、午前9時～午後5時までに川越駅東口再開発事務所へ。ただし、19日(土)は正午まで、20日(日)は除く。

※申込み多数の場合は抽選により決定。くわ

銃砲所持者の

みなさんへ

川越警察署では、今年も銃砲検査を行います。市内に住み、猟

銃など銃砲をお持ちの方は、期間内に必ず検査をお受けください。とき：4月12日(日)・14日(月)、午前9時～午後4時(正午・午後1時は除く) ところ：川越警察署3階会議室 ※くわしくは、同署防犯課(☎420200)へお尋ねください。

申込みを受付中！ 胃がんの検診

対象は40歳以上

市では、昭和55年度「胃がん検診」の申込みを3月25日から受付けていますが、まだ定員に若干余裕があります。健康に自信があるあなたも、念のために申込んでみませんか。自覚症状がある前に、まず検診を受ける——これが、がんから身体を守る最良の方法です。お早目に申込みください。

〔申込〕
本庁地区：南公民館で受ける方は南連絡所へ。中央公民館で受ける方は市役所衛生課へ(電話不可)
出張所地区：各出張所へ(電話不可)

検診日	会 場	地 区
4.18(金)	南古谷公民館	南古谷・古谷
4.21(月)	南公民館	本 庁
4.22(火)	南公民館	本 庁
4.23(水)	南公民館	本 庁
4.24(木)	高階公民館	高 階
4.25(金)	高階公民館	高 階
5.6(火)	名細公民館	名 細
5.7(水)	霞ヶ関公民館	霞ヶ 関
5.8(木)	大東公民館	大 東
5.9(金)	福 原 公民館	福 原
5.12(月)	霞ヶ関商業センター	霞ヶ関北
5.13(火)	山田公民館	山 田
5.14(水)	中央公民館	本 庁
5.15(木)	中央公民館	本 庁
5.16(金)	中央公民館	本庁・野古

※霞ヶ関商業センターは霞北出張所裏側です。

〔検診方法〕
検診車内でバリウム液200mlを飲み、レントゲンを5枚撮影。
830円(検診当日徴収)
※くわしくは、衛生課予防係へお尋ねください。

「杜子春」が来川

小・中学生むけ
ミュージカル

見さん、お姉さんたち。市では、これを川越市ファミリー劇場と名づけ、今年も親子など、ペアで招待します。なお、応募方法などくわしくは次号の広報川越でお知らせしますからお楽しみに。とき：6月8日(日) ところ：市民会館 主催：市教委社会教育課

仲間と一緒に 陶芸教室

抹茶茶わん。にチャレンジします。とき：5月13日(火)・17日(土)・31日(日)・6月17日(火)、午後6時30分～8時30分(31日は、東松山市で現地研修を行います) 対象：15歳～25歳の勤労青少年 定員：20人(先着順) 経費：3,000円 申込：4月15日(火)、午前9時から青少年ホームへ(電話不可) ※くわしくは同ホームへお尋ねください。なお、平日(月曜日～土曜日)は午後9時まで閉館、日曜日・祝日は休館です。

部員を募集 ギターアンサンブル

青少年ホーム登録の「ギターアンサンブルクラブ」では、新部員を募集しています。あなたもギター合奏の楽しさに触れてみませんか。15歳から25歳の勤労青少年で、ギターの好きな方ならどなたでも歓迎します。もちろん、「初めてギターを手にするの」という方も……。練習日：毎週月曜日、午後6時30分～8時30分 経費：無料 連絡先：角田文男宅(☎22-1297)

摘み草ハイキングと 山・野草料理教室

「この草の名前は？ 食べられるのかな？ どうやって？」などと、実際にハイキングに出かけ、山・野草の名称や成分、効用などを学び、その調理方法を習います。とき：4月21日(日)＝越生方面へハイキング、4月23日(火)・30日(火)・5月7日(火)、午前9時30分～正午＝料理の実習 対象：市内在住・在勤の成人 定員：35人(先着順) 経費：500円(ハイキングは実費負担) 申込：4月16日(日)、午前9時から南公民館へ(電話不可)

自分をみつめよう 青年教室

個人の世界からグループの世界へ脱皮してみませんか。レクや話し合いなどを通じ、他人を理解し、また自分自身をみつめ直す絶好のチャンスです。とき：4月25日～12月19日、毎週金曜日 予定、午後6時30分～8時30分 対象：市内在住・在勤の青年男女 定員：30人(先着順) 経費：1,000円 申込：4月15日(火)、午前10時から中央公民館へ(電話不可)

あなたもどうぞ 中央高齢者学級

「高齢者の生きがい」、「孫の教育としつけ」などを学び、また「社会見学」などもとおして新しい知識・技術を身につけていただくという学級です。これからの人生をより豊かにするために役立ててください。とき：5月8日～来年3月、主に第1・2・3水曜日、午後1時30分～3時30分(毎月2回学習) 対象：市内在住で60歳以上の方 定員：200人 経費：1,000円 申込：4月15日(火)、午前10時から中央公民館へ(電話不可) ※詩吟・民謡・民謡・川柳・書道クラブにもご参加ください。

お出かけを 話し方月例会

毎月第3水曜日、南公民館を会場に学習している「話し方月例会」。今月は「子どものしつけと話し方」をテーマに開きます。市内在住・在勤の成人なら、どなたでも参加できますから、希望者はお出かけください。なお、参加費は100円です。とき：4月16日(日)、午後6時30分～8時30分 講師：石岡豊治氏(実践話し方研究所長)

かくし芸に最適 震北公民館 震北公民館

震北公民館登録のマジック(手品)クラブ「川越マジシャンズ」では、新部員を募集しています。初めての方も大歓迎ですから、あなたも挑戦してみませんか。練習日：毎月第1・2水曜日、午後7時～9時 対象：市内在住・在勤の方 経費：月1,000円 連絡先：池田佳寿子宅(☎31-0589)

参加者を募集 県青年洋上大学

内容：船内研修＝講義、討議、交歓会、レクリエーション活動など、陸上研修＝視察見学、沖縄青年との交歓会など とき：5月18日(日)～25日(日) 航行先：沖縄県那覇市 応募資格：18歳から25歳までの青年男女で、現在青少年活動を行っている方、また今後活発な活動を期待される方 募集人員：4人(川越市推せん分) 参加費：10,000円 申込：4月15日(火)までに市役所青少年課へ

求職・求人は 高年齢者職業相談室へ

「川越市高年齢者職業相談室」は、川越公共職業安定所の出先機関であり、また市役所市民生活課の相談業務の一つともなっています。このような公的な機関を利用して求職されたいへん有利です。失業保険受給中の人や、受給の終わった方、また受給していない方でも気軽に相談にお出かけになり、自分に適した仕事をさがして楽しく元気で働きたいというお勤めいたします。相談日：月～金曜日、午前10時～午後4時 場所：市民生活課内高年齢者職業相談室(求人側へお願い) 事業所の方はご存じと思いますが、高年齢者を雇い入れた事業所には「雇用奨励金制度」があります。定年退職の方や、自営転職の方や社会的に経験豊富な働く意欲のある方が、たくさん求職に見えています。これらの方たちに職場を提供されるようお願いいたします。相談室へ職安と同様に求人票を提出いただければ、求人シートを展示して希望者を紹介する仕組みになっていますので、どうぞご利用ください。

身障・ちえ遅れの 巡回相談

身体障害者手帳、または療育手帳(みどりの手帳)をお持ちの方やこれらの手帳の交付を受けた方、またその家族の方を対象にした相談会です。相談は無料、希望者は直接会場へお出かけください。〈内容・対象〉▷身体障害者手帳の交付を受けたときより障害が重くなったり、新しい障害が加わった方▷施設に入って訓練を受け、仕事をしたい方▷就職や結婚問題でお困りの方▷車いす・補聴器・義足など、補装具の交付や修理を受けたい方▷精神薄弱者で施設に入所したい方▷その他、年金や手当などの援護制度について知りたい方 とき：4月25日(金)、午後1時30分～4時 ところ：大東公民館 相談員：山下重子氏(身体障害者相談員)、小田匠良氏(精神薄弱者相談員)、各担当ケースワーカー

巡回市民相談 4月15日 南古谷公民館

内容：一般・行政・税務・法律・建築相談など。相談は無料 とき：4月15日(火)、午前10時～午後4時 ところ：南古谷公民館(市民生活課)

「移動図書館」 4月17日高階へ

高階稲荷公園：4月17日(日)、午前10時～11時30分(雨天の場合は藤間南集会所) 高階春日神社：4月17日(日)、午後1時30分～2時30分 借り方：住所・氏名を記入するだけで、家族数の3倍までの本が借りられます。なお、移動図書館(バス)には小説や実用・教養書、児童用図書など、約3000冊が積載されています。ご利用ください。問合せ：市立図書館(郭町1-18) ☎220559

「技能検定試験」を受けませんか

県では、今年度前期の「技能検定試験(国家認定)」を次のとおり行います。実施予定職種：造園、機械加工、板金、木工、とび、左官、ブロック建築、タイル張り、塗装、塗装、写真、婦人子供服製造 受験受付：4月23日～5月7日 ※申込みなど、くわしくは県職業能力開発協会(☎0488228011・2)へ。

「小江戸川越めぐり」 ささら獅子舞など

「私たちの街、川越をもっと見つけよう」と、毎月1回、小江戸川越めぐりを計画している「小江戸川越を歩く会」。今月は、ささら獅子舞見学と赤間川沿岸下りとして、市役所観音寺・本応寺・東明寺・霧吹の井戸・市民会館

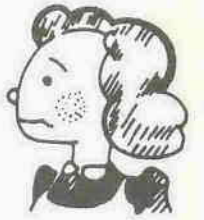
「イヴリー・ギトリス」 読書楽団演奏会

バガニニの再来といわれる名バイオリニスト、イヴリー・ギトリスが、読売日本交響楽団と坂戸文化会館で共演します。曲目は「エーペーの魔弾の射手」、バガニニの「バイオリン協奏曲」、ブラームスの「交響曲第一番」。とき：5月30日(日)、午後7時～8時40分 ところ：埼玉県坂戸文化会館(坂戸市元町17-1) 入場料：A席3000円 B席2500円 C席1500円 入場券の発売：4月15日(火)、午前9時から次のところへ。

「園芸生産物の即売会」 4月26・27日川越農高

今年も恒例の「園芸生産物即売会」が、県立川越農業高校で開催されます。ナス・トマト・キュウリの苗、エビネ・シタコナゲの鉢物などが多数即売されますから、お出かけください。とき：4月26日(土)・27日(日)、午前10時～午後3時 ところ：県立川越農業高校(小仙波町5-14) ※駐車場はありませんから、お車でのお来場はご遠慮ください。

こんにちは 奥サマ



川越も、一歩郊外へ出ると、もう春真盛り。入間川の堤防や田んぼの畦道には、セリ、よもぎ、菜の花、つくしなど季節の草花が春の顔をいっぱいほかせている。

さて、春といえば、安くて新鮮な野菜が豊富に出回る。この冬の野菜の高騰に頭を痛めた主婦にとってはうれしい季節がやってきたといえそうだ。そこで今回は、野菜と健康の関係について紹介してみよう。

私達が健康な体を保つには、必要な栄養素をバランスよく、十分にとらなければならぬ。だが、とかく不足しがちなのが野菜類。野菜は肉や魚の2倍以上をめやすに、毎日の献立に組み入れるようにしたい。

野菜は健康の秘けつ
野菜は貴重なビタミン源であるとともに、体のためによい働きをたくさんもっている。その主なものをあげてみよう。

▽ビタミンA：のどや目の粘膜を健康に保つ働きがあり、これが欠乏すると、夜盲症、角膜炎乾燥症、子供の発育障害を招く。

▽ビタミンC：血管を強くして、

健康には 野菜が一番

皮膚を美しく保ち、カゼのウィルスの感染を防ぐ働きの他、最近では発ガン物質の活性を妨げる働きがあることが注目されている。

▽消化を助ける酵素：だいこんやとろろいもには、でんぶんの消化を助ける酵素が含まれている。ただし熱に弱いので、生で食べないと効果は期待できない。だいこんおろしやとろろめしは理想的な食べ方といえる。

▽繊維の働き：栄養素として体に吸収されるものではないが、腸を刺激してその働きを促し、便秘を防ぐ働きがある。また、最近では、コレステロールの蓄積を防いだり、腸ガンを予防する働きが注目され始めている。

▽いも類に多いビタミンB1：でんぶんが体の中でエネルギーに変わるときに必要なのがビタミンB1。この欠乏症である脚気が最近増えたり、成長期の子供や運動の多い若者に多いという。この頃なんとなくだるいとか、朝からねむいなどという人は、毎日の食事を洗い直す必要がありそうだ。今回は、緑黄色野菜と淡色野菜を紹介する予定。

※お問い合わせは市民生活課へ。

いかがでしょうか？ 十分間にたった感想は。昨年十月から、UHFテレビ局「テレビ埼玉(38チャンネル)」で、毎週火曜日に放映を始めた川越市のテレビ番組「わが街川越」。この四月第一週分から、それまでの五分から十分に延長。正午〇時十分と夕方六時十五分〜二十五分となり、新たに登場。もちろん、時間が倍になった。ただ、期待できない。中身の濃い番組となつて、既に四月一日と八日の二回放映、好評を博している。下表のように、このあとも続々内容ある番組がラインアップされているから、ご期待のほどを。

情報

市営の「わが街川越」再スタート
市営の「わが街川越」再スタート。この問題に関し、関係者間で話し合いがすすんでおり、四月一日と八日の二回放映、好評を博している。下表のように、このあとも続々内容ある番組がラインアップされているから、ご期待のほどを。

このため、市ではビデオの設備を購入。市役所一階ロビーや市内各地の公民館で放映のほか、新宿町一七―一七―七にある視聴覚ライブラリーを通じてテープの貸し出しも検討中。これで全ての皆さんに満足いただけるかは別として、今後でもできるだけ多くの皆さんに見ていただけるよう、努力していきたい。これからもヨロシクネ！

月	日	タイトル	内容
4月	15(火)	新年度算	3月議会で承認された昭和55年度の子算から、市政の展望を。
4月	22(火)	春呼ぶササラ獅子	県指定の無形民俗文化財ササラ獅子。春にふさわしい優雅なその舞を。

このため、市ではビデオの設備を購入。市役所一階ロビーや市内各地の公民館で放映のほか、新宿町一七―一七―七にある視聴覚ライブラリーを通じてテープの貸し出しも検討中。これで全ての皆さんに満足いただけるかは別として、今後でもできるだけ多くの皆さんに見ていただけるよう、努力していきたい。これからもヨロシクネ！

さて、川越を舞台に描くテレビのホットな情報を満載するこのコーナー「小江戸TV情報」には、皆さんからいろいろな投書やご意見などが寄せられている。中でも多

このため、市ではビデオの設備を購入。市役所一階ロビーや市内各地の公民館で放映のほか、新宿町一七―一七―七にある視聴覚ライブラリーを通じてテープの貸し出しも検討中。これで全ての皆さんに満足いただけるかは別として、今後でもできるだけ多くの皆さんに見ていただけるよう、努力していきたい。これからもヨロシクネ！

このため、市ではビデオの設備を購入。市役所一階ロビーや市内各地の公民館で放映のほか、新宿町一七―一七―七にある視聴覚ライブラリーを通じてテープの貸し出しも検討中。これで全ての皆さんに満足いただけるかは別として、今後でもできるだけ多くの皆さんに見ていただけるよう、努力していきたい。これからもヨロシクネ！

短歌

名細公民館
短歌同好会

天沼新田 加藤 智子
何となくむずかしそうに思いけり
短歌講座の片すみに居て

上戸 福島 由布
まきれなく陽ざしは如月なかばな
り凍上に寒の肥穴を掘る。

吉田 斉藤 忠治
立春といえどもいまだ寒き庭沈丁
花の蒼ほころびそめり

下広谷 神戸 すみ
日の暮れて団地の道を帰り来ぬい
つの日ここに住むと思ひしか

小堤 金子功美子
はるすぎて庭に降り積む淡雪はか
わきし土を白く消しゆく

天沼新田 古郡 千代
嫁病みて久方ぶりに立つ厨我この
みなるみそ汁の味に

吉田 杉田 文子
嬉しき見えて五歳となりぬ

吉田 斉藤 忠治
立春といえどもいまだ寒き庭沈丁
花の蒼ほころびそめり

下広谷 神戸 すみ
日の暮れて団地の道を帰り来ぬい
つの日ここに住むと思ひしか

小堤 金子功美子
はるすぎて庭に降り積む淡雪はか
わきし土を白く消しゆく

小堤 金子 哲子
子ら菓立ちて少なくなりし我が家
族米とく指に水もしみ入る

オムツはなんと千八百枚
「わたさきり老人や重度の心身障害者などにオムツを贈ろう」と
この一月から県下で「善意のオムツ持ち寄り運動」が展開されてきたが、このほど川越市社会福祉協議会(加藤進一理事長)で集計された数字によると、同会あてのオムツは千七百六十四枚にもおよび、県内第二位を記録した。特に、その内約千枚分は、反物として贈られたもので、山村女子高校をはじめ市民多数の手により縫い上げられた。同会では皆さんのご協力に感謝している。

<愛のプレゼント(2/1~2/29)>

	件数	金額および物品数
一般寄付	5件	254,300円
善意銀行	現金	4件 43,645円
	物品	6件 7点
	技能・労力	1件
合計	16件	